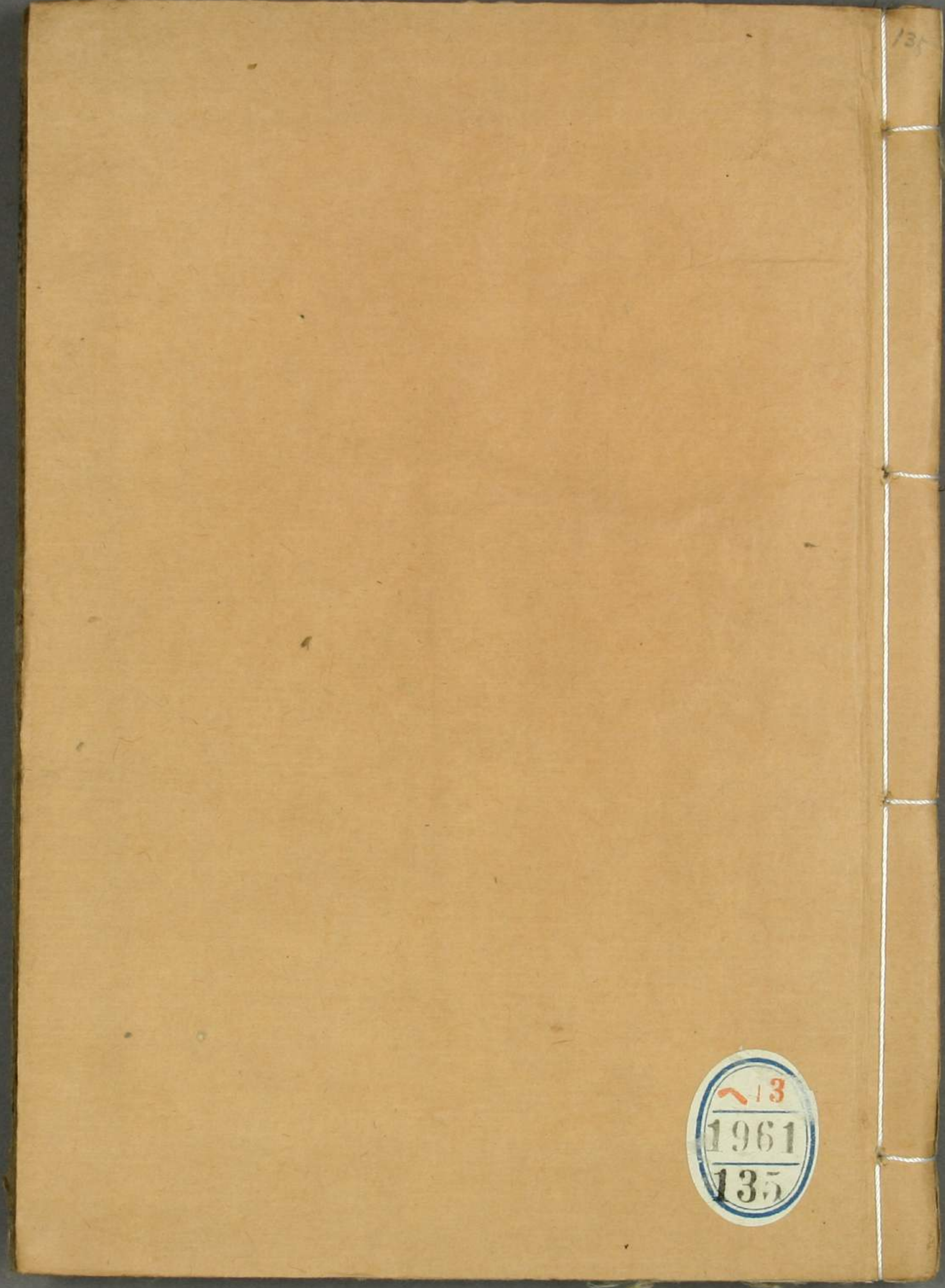


# KODAK Gray Scale



13  
1961  
135









平井傳は、はやくもな  
 その月のなれが、本園がや  
 と、平井傳は、ちよと  
 まよふあ、死す  
 何りて、まのりし  
 の、入る小ぬを、ま、  
 物、あ、く、さ、り、ま、  
 と、ま、り、れ、れ、か、な、ひ  
 物、あ、く、さ、り、ま、の  
 ら、れ、し、と、何、の、ま、  
 せ、い、ま、や、の、の、の、小  
 て、も、あ、く、さ、り、ま、  
 あ、く、さ、り、ま、の、ま、  
 ら、い、か、ひ、や、  
 の、あ、く、さ、り、ま、  
 ひ、や、の、あ、く、さ、り、ま、  
 ら、れ、し、と、何、の、ま、  
 く、さ、り、ま、の、ま、  
 と、ま、

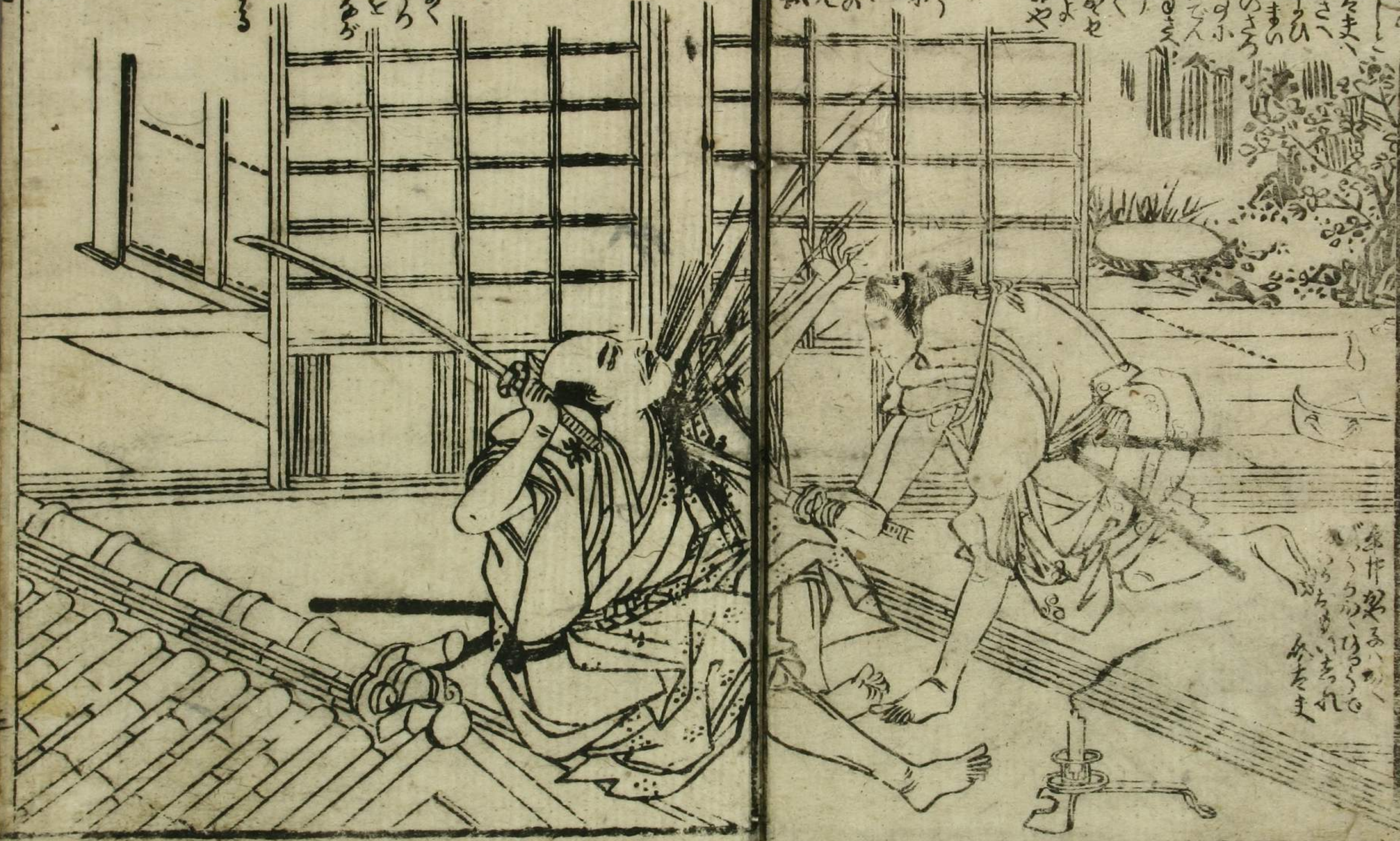
あ、く、さ、り、ま、の、ま、  
 て、ま、あ、く、さ、り、ま、  
 い、し、し、し、し、し、  
 が、ん、し、し、し、し、し、  
 し、し、し、し、し、し、  
 し、し、し、し、し、し、

あ、く、さ、り、ま、の、ま、  
 て、ま、あ、く、さ、り、ま、  
 い、し、し、し、し、し、  
 が、ん、し、し、し、し、し、  
 し、し、し、し、し、し、  
 し、し、し、し、し、し、

せがれぬ市  
 八かゝぬち  
 しやゝめを  
 いまゝめよ

それより、  
 ちやゝめを  
 いまゝめよ  
 まよ

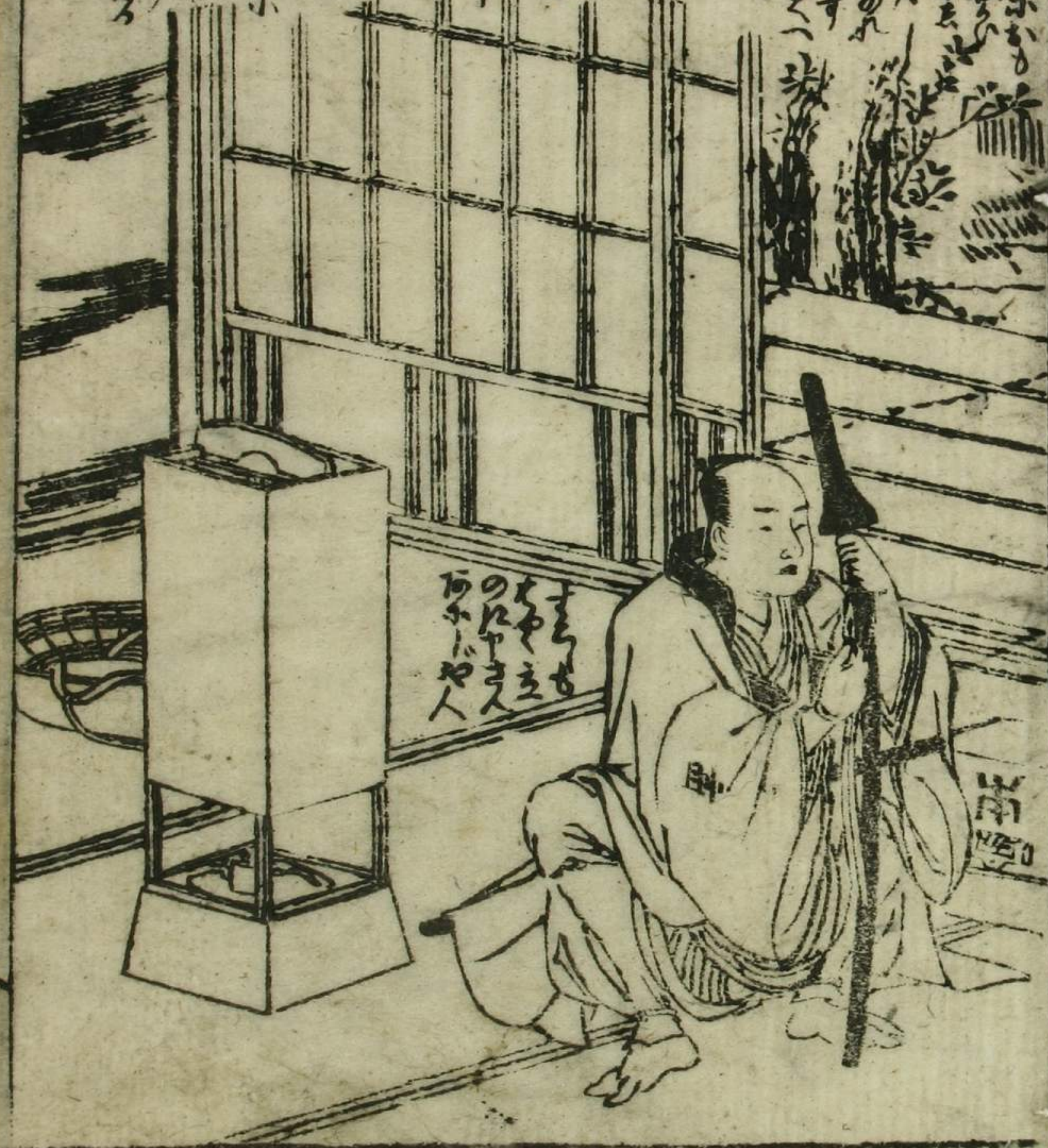
24  
 24  
 24



平井傳、は、ちよと  
 まよふあ、死す  
 何りて、まのりし  
 の、入る小ぬを、ま、  
 物、あ、く、さ、り、ま、  
 と、ま、り、れ、れ、か、な、ひ  
 物、あ、く、さ、り、ま、の  
 ら、れ、し、と、何、の、ま、  
 せ、い、ま、や、の、の、の、小  
 て、も、あ、く、さ、り、ま、  
 あ、く、さ、り、ま、の、ま、  
 ら、い、か、ひ、や、  
 の、あ、く、さ、り、ま、  
 ひ、や、の、あ、く、さ、り、ま、  
 ら、れ、し、と、何、の、ま、  
 く、さ、り、ま、の、ま、  
 と、ま、



さてもゆんあが  
 けらのよりうた  
 おれのつうき  
 村中さしや  
 せし小おゆ  
 向かてうたうら  
 のぬかまをうく  
 ばあめはりしと  
 けりのさるえふ  
 早さとのいす小  
 出てあとうんあよ小  
 ありけりさくか  
 きま人があう  
 田んあう  
 たり



すとらも  
 のたやま  
 何ふいやん

井井さるのんちやをいづま  
 ちやさういふま  
 のいさうたのうまさうちの  
 一あまのいせまするいさ  
 あとそのをいさうさ  
 わらういさくのまうさ  
 うんまうさうのまうたのぬ  
 ろのせやうがうめあまう  
 いさうさういさうてあせま  
 られんてあまうてあせま  
 まうちのいせま  
 うあういさうい  
 ちのいせま  
 まま  
 せんハセがれち  
 ぶらちあま  
 せういさうけら  
 せらる



けりくいらあ  
 ところ小あ  
 すしうさうい  
 一いさ  
 せけんま





咳々中領城負女  
誠が世の町は男氣

名高江都紫  
二







めいあつはるうら  
 すがりめいふさ  
 かみふふつをえ  
 ころめりいふいそ  
 めもるあやぐこまの  
 さひいぬすだる  
 ふむかのかりの門  
 より大のをこみあ  
 人のつらくとちか  
 よりいひんさかて  
 のきらぬち  
 され小き  
 おとらまか  
 ふさたさの  
 らる男ををの  
 て小さびちがて  
 見えま小に人きり  
 ころしげ

らん口あちやあて  
 おめ小かりいふ  
 さいのきとんをさる  
 かさりいぬさぬかてさう  
 いぬめりて人どとのと  
 女小かりれこらしこ  
 かなぬて見えい



あんこれかじら  
 かいやういふ  
 ちんかす

らん口あちやあて  
 おめ小かりいふ  
 さいのきとんをさる  
 かさりいぬさぬかてさう  
 いぬめりて人どとのと  
 女小かりれこらしこ  
 かなぬて見えい



らん口あちやあて  
 おめ小かりいふ  
 さいのきとんをさる  
 かさりいぬさぬかてさう  
 いぬめりて人どとのと  
 女小かりれこらしこ  
 かなぬて見えい



江戸の風情

ちとけいけいあん  
いふまことんち  
とちやや  
あーいあ

手井ハ小切さる小  
又さる

とれく  
いふまことんち  
まふ  
ふりいさいで  
ふんすまを  
まふとく

伊豆ハ  
目く小あま  
くりんが  
九月十三日の  
ふりあうがこ  
あくさうく小  
てあふり系へ  
おむねせ  
のふめさあ  
うらんが  
てして中の  
十のちやハ  
はぐりあ  
月見のま  
まふたふれ  
名あるけい  
とあふり  
川つぎてのた中  
さすかの傳  
くんあふす



あふり  
あふり  
あふり  
あふり  
あふり

あふり  
あふり  
あふり  
あふり  
あふり



城ヶ守の男丸  
唄の安の娘貞女

なまとりき  
あまのあま  
名きいせ  
三





そのら年井ハ小曲うきたけ  
さ入るよもくろよのつめぶ  
うた中とありけ

まじりあふと  
かみむきさねも  
かじりしゆハ  
まんのとこの

いあらぬのこころが  
けよの事さうよのこころ  
あつてやちめあつたのま  
ぬハちまへんのつめあつた  
ちんげ



おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは  
おのれは

212









五三



る今小をゆぬはの...  
 五三三三三  
 一、小ゼーハ

さてお月命...  
 ぬんごう...  
 けりて...  
 うりて...  
 るのり

いよふ  
 めくふ  
 うのり  
 つうの  
 ぬんごう  
 かむの  
 えり  
 るれを  
 こちか  
 まか  
 のまぬ  
 るま



おのれ...  
 め月...

ゆふふ...  
 さと...  
 まと...





此が世に傳へたる  
薄き甲の男衆

名を  
に都  
四











りんごを八はいりけん大せのふ  
 とりまうれついのけりせりまの戸  
 おめてまてころりんせりまの井  
 作中がころりんせりまの井  
 人々をころりんせりまの井  
 勢とありぬ

ちくあんそのちとせかとてや  
 多めのあんそのちとせかとてや  
 とりまねをころりとつめあふら  
 りの川のせりまのちとせかとてや  
 めやうたところ平井作中いせりまの  
 ころりまありりや川といひこころ  
 つくともあてあやうせける

2  
 2



おけのひーる  
 田くさりの  
 くまへつ

ころり  
 ころり  
 ころり

17

17





去るのそのころねえふろやうとむそと人  
 志のせえんこまきつり平井傳はくちろひの人さ  
 とめちひみんをうぐねふりよりちちめふろや  
 きさうりしめいそりくくおよのちあれあけり  
 さとつめあといひ

平井傳はくちろひの人さ  
 さとつめあといひ



あつて  
 ちちめ  
 ちちめ  
 ちちめ















このよふに  
くねんせう  
いんせう

ついで  
Suntus to



そのちぢいん  
八平井こむき  
きりひらさ  
つめまへの  
よまそ  
ひちつち  
とひつち  
いひつち

又長まの平井  
こむき  
うかま  
まやま  
てめ  
ひま  
むま  
小か  
いん  
か  
つ  
ら  
い  
さ

これとつ  
つ  
ひん

いん  
め  
つ



